

公益社団法人滋賀県社会福祉士会

2013年度 事業報告

1 総括

滋賀県社会福祉士会は、設立後20周年という節目の時に、公益社団法人として新たな一歩を踏み出すことができました。

本会の主たる目的とする公益目的事業の実践（「社会福祉の援助を必要とする滋賀県民の生活と権利を擁護し、社会福祉に関する知識及び技術の滋賀県民への普及・啓発」と社会福祉士一人ひとりの資質を高めるための取り組み等を行ってきました。

ここに、本会のこの1年間の活動を総括し、その成果を確認するとともに、表出した課題については次年度に着実に引き継ぎ、可能なものから対応していきたいと考えています。

公益事業の「1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業」については、成年後見制度の普及活動と後見受任者の資の向上への取り組み、高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動、地域包括支援センターの機能強化に向けた支援、子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催を目標に掲げて取り組みました。

成年後見制度に関わる取り組みについては、ぱあとなあ滋賀の役割が大きいので、月例会を県内2か所で開催し、ぱあとなあ会員に対してルール等の情報の共有化、困難事例の検討、後見人としてのリスク管理など資質の向上に努めました。また、県民のための成年後見制度活用講座については、「甲賀・湖南成年後見センターぱんじー」とともに開催したことにより、相乗効果で盛会でありました。今後の課題としては、増大する受任件数に対応する人材の育成と経験の浅い受任者等への支援体制の整備、ぱあとなあ会員の高齢化対策、法人後見の検討、独立型委員会のあり方等についての方針決定を急ぐ必要があると考えています。

高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動については、9市1町で契約を締結し、市町の担当課に対して専門的助言を行いました。また、資質の担保を行うため、研修会や奇数月に運営委員会を開催するなど弁護士会との密なる連携を行いました。今後の課題としては、養介護施設従事者による高齢者虐待対応支援、障害者虐待対応支援に向けたスタッフの確保と研修の充実が必要であると考えています。

地域包括支援センターへの支援については、高齢者虐待対応現任者研修の再開を図るなどにより、地域包括ケアの推進に一定の寄与ができたと考えています。

子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催については、SSWの配置拡大が進むなか、京都社会福祉士会SSW委員会との共催により実施することができましたが、本会会員で実働している者が少ないのが課題となっています。

「2. 社会福祉士の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等」については、県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及、社会福祉および社会福祉士に関する調査研究、社会福祉士の養成支援を目標に掲げて取り組みました。これまでにない特筆は、更に実践力を高めたいと願う会員の有志（定年退職者された方が中位を占める）が「実年部」と称する勉強会のグループを立ち上げ、青年部や多くの会員に研修機会を毎奇数月に提供しています。このことにより、かねてから懸案であっ

たソーシャルワーカーデーの県民向け公開講座も開催することができました。

「３．介護従事者メンタルヘルス相談事業」については、滋賀県からの助成金事業に新規に取り組み、福祉介護従事者を対象にした「なんでも相談事業」やメンタルヘルスに関連する出前講座を実施しました。

２０１３年度事業計画では、公益事業以外に収益事業として、社会福祉事業のサービス評価（第三者評価事業）に取り組みました。

また、その他の事業（相互扶助等事業）として、社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上、社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携、広報委員会の運営、地域単位の組織化、会員の拡大、基金の運営、事務所移転・整備の検討、事務局の充実、社団法人日本社会福祉士会との連携事項、総会・理事会・理事連絡会議の開催を目標に掲げ推進しました。これらの事業には、理事の役割分担のもと、それぞれ担当理事を配置し、事業の進捗管理を行いました。特筆したいことは色々ありますが、中でも、本会の広報紙“はーと・めーる”の発行が復活できたことです。また、会員の協力の下、基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱを実施し、生涯研修制度と認定社会福祉士制度の推進に寄与できたことです。

会計では、会費収入が基本ですので厳しさには変わりはありませんが、県からの助成事業に取り組む中で、事務局機能の強化にもつながっています。今後も、新しい収入の方法を探りつつ、安定運営に向けて努力を重ねてまいります。

公益社団法人となり、総会などこれまでとは異なった運営になり、諸規定等まだまだ不整合なところもあるかと思いますが順次整備して参りますので、ご理解を賜りますようよろしくお願いします。

会員数も４５０名に迫る会となってきましたが、まだまだ脆弱な会であります。今後も運営基盤の強化を目指し、一人ひとりの会員の拠り所となれるように、そして公益社団法人、職能団体として、県民の皆様からの信頼に応えられるような本会活動をしてまいりますので、会員の皆様のご理解とご支援をお願いします。

最後に、今年度は「近畿ブロック研究・研修 滋賀大会」を開催することが決定していることから、これを機に、会員相互の顔の見える関係づくりを一層推進するとともに、新規入会者も積極的に募り、元気よく会員が一丸となって滋賀大会を成功させていきましょう。よろしくお願いします。

２ 事業報告

【公益事業】

１．社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

（１）成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

権利擁護に関する普及啓発事業をより実践的な取り組みとするため、「ぱあとなあ滋賀」の活動の充実・強化を図り、月例会において事例研究等を行い、成年後見受任者としての質の向上を図った。また、「ぱあとなあ活動報告書チェック支部委託事業」により、会員間での後見活動内容の共有化を図り、また、本部における代表者会議に参加する等全国規模での後見業務の問題点等を検討する機会に恵まれ、それを会員へフィードバックすることで、今後、より一層の質の担保を図ることとした。

①ぱあとなあ滋賀の活動の充実・強化

ア．後見活動の実施

２０１３年度末（２月報告）でぱあとなあ会員７１名、後見９４、保佐２５、

補助6、任意後見7、監督0、あわせて 132件を受任。

後見人が一人で全責任を負うことになる後見活動内容を会員が共有し問題点を検討。

イ. 定例会の開催 毎月第2土曜日に実施

研修やケース検討等を通して、受任者のフォロー、そして倫理と質の向上を図った。

ウ. 運営委員会の開催と体制整備

ブロック別責任者が運営委員となり運営委員会を開催すること共に、組織内の役割分担を明確にして体制を整備した。

運営委員長:足立義弘 副運営委員長:澤 和清

推薦依頼:山形智久子(彦根、長浜)平野千代子(大津、高島)

相談窓口:平野千代子

活動報告書チェック担当:吉原正栄、安藤真紀、平野千代子、小笠原美幸、小西加津代

担当理事:足立義弘、澤 和清

担当者会議・京都支部養成研修担当:足立義弘

エ. 関係機関との連携、電話相談の実施

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備した。

②県民講座の実施

県民のための成年後見制度活用講座の開催

成年後見制度に関する基礎知識と具体的な活用方法についての啓発を行うためのセミナーを開催した。

今回は、甲賀・湖南地域に待望の成年後見センター「甲賀・湖南成年後見センターぱんじー」が設立されたことを記念して、ぱんじーと本会の主催事業として開催し、認知症高齢者や障がいのある人が、その人らしい生活を送れるよう、センターが関係機関や市民と協働し、発展していくには何が必要か、改めて成年後見制度を学び、考える機会とした。

日時 平成25年11月10日(日) 会場 サントピア水口

基調講演「権利擁護の理念と成年後見制度の可能性」

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 岩間伸之教授

シンポジウム「地域における権利擁護システムの展開をめざして」

③後見人養成研修支部委託事業への取り組み

前年度に引き続き、今年度も兵庫県社会福祉士会での研修に参画。

11月24日(日)にぱあとなあから平野千代子会員、小笠原美幸会員が参加。

④平成25年度「成年後見制度に強くなる」～行政職員のための研修会への参加。

市町行政の役割の明確化、成年後見制度利用支援などの問題解決に向け、専門職団体(あさがお、弁護士会、リーガルサポート、社会福祉士会等)と行政職員が成年後見制度及び制度運用に関する理解を深めることを目的にした研修会が25年8月から26年3月まで年4回程度開催される。本会から澤和清理事が委員として参加。

⑤公益社団法人成年後見センターリーガルサポート滋賀主催相談会への参加。

9月16日(月・祝)草津駅前まちづくりセンターにて「高齢者・障がいのための成年後見相談会」が開催。ぱあとなあから松田正義理事、石山久子会員、竹村直人会員が参加。

⑥甲賀・湖南成年後見センターぱんじー出張相談会への参加。

26年11月～27年3月にかけて成年後見制度に関する相談会へ松田正義理事、木下道生理事、石山久子会員、安藤真紀会員が参加。

(2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

2009年より滋賀弁護士会とともに「滋賀県高齢者虐待対応支援ネット」を設置し、地域包括支援センターでの困難事例への相談対応や、虐待対応ケース会議での相談対応など高齢者に対する権利擁護事業に対して支援を行ってきた。

2012年10月施行された障害者虐待防止法に対応するため、「滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット」として改め、専門職チームとしての専門性の研鑽をはじめ、県や市町に対して支援ネットを活用した権利擁護体制整備の必要性の広報、研修会等へのアドバイザーの派遣など、支援体制の強化等に取り組んでいる。

今後、行政は勿論、県民や各種団体・機関においても、権利擁護に関する体制強化や意識高揚のニーズが一層高まることが予測される。このことから、権利擁護に関する情報の収集・発信、未契約市町への広報活動の強化、専門職チームとしての体制強化と資質の向上に努める必要がある。

<契約先市町の状況>

○2013年度契約市町

高島市 米原市 栗東市 草津市 彦根市 守山市 野洲市 近江八幡市
長浜市 愛荘町

★支援ネット運営会議

5月8日（野洲コミセン）7月10日（弁護士会館）9月11日（野洲コミセン）

★滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット研修会

10月26日（土）施設従事者等による虐待についての研修会

(3) 地域包括支援センターの機能強化に向けた支援

①高齢者虐待対応現任者標準研修

平成25年8月31日、9月7日、9月14日の3日間に渡り地域包括支援センター職員等向けに開催した。

講師：宮原弁護士、松田正義会長 足立義弘理事 中村卓也会員 図司圭秀会員
尾崎 史会員 場所：守山成人病センター 講堂

高齢者虐待防止法の理解から初動期、対応期、評価期における手順を帳票を用いて学習、演習事例を実践で学んだ。初日44名、2日目41名、3日目32名参加。

②地域包括支援センター職員向けの虐待対応研修会

平成26年3月10日、コミュニティセンター野洲にて実施

講師：松田正義前会長

③地域包括ケア研修

平成25年6月15日、長寿社会福祉センターにて実施

講師：川越雅弘氏（国立社会保障・人口問題研究所）

(4) 子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催

京都社会福祉士会SSW委員会と共催の形で計7回開催した。京都社会福祉士会との協調の上で、レベルの高い研修ができたが、滋賀県で開催するに至っていないという課題は大きい。子ども家庭福祉に関する企画がもてていない点とSSWについては滋賀県内で配置が拡大しているにもかかわらず、当会会員で実働している者が少ない点が課題でもある。

①第1回研修会（SSWrとしての基本的理解）

講師：野田 正人会員

日時：平成25年5月19日（日）14時30分～17時

場所：花園大学自適館201教室

②第2回研修会（SSWrとしての実践的対応）

講師：野田 正人会員

日時：平成25年6月23日（日）14時00分～16時30分

場所：京都社会福祉会館第1会議室

③事例検討会

スクールソーシャルワーカーとして、個別のケースを学校と一緒にどう読み解き、整理し、アウトプットしていくのか、子どもの最善の利益と学校の先生も元気になるアセスメントとプランニングを事例検討を通して学んだ。

日時：平成25年7月21日（日）14時～16時30分

場所：京都社会福祉会館第2会議室

助言者：佐々木 千里会員

④第3回研修会（府教育行政及び学校現場の立場から）

講師：京都府教育委員会指導主事

日時：平成25年8月18日（日）14時00分～16時30分

場所：京都社会福祉会館第2会議室

⑤第4回研修会（少年院からみた子ども達の姿）

日時：平成25年9月22日（日）13時30分～16時30分

場所：浜大津明日都ふれあいプラザ5階 大会議室

話題提供者：平岡 香穂里会員（京都医療少年院 法務官・分類保護担当）

司会：佐々木 千里会員

⑥第5回研修会（福岡県での学校ソーシャルワーク ～ネグレクトへの対応を中心とした SocialWork in schools～）

講師：奥村 賢一（福岡県立大学）

日時：平成25年10月27日（日）14時00分～16時30分

場所：京都社会福祉会館第2会議室

⑦第6回研修会（いじめ・児童虐待・非行と家庭支援～関係機関との連携をスムーズに～）

講師：野田 正人会員

日時：平成25年11月17日（日）14時00分～16時30分

場所：京都社会福祉会館第2会議室

2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

(1) 県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及

①県民向け公開講座の開催

ア 県民のための成年後見制度活用講座の開催

成年後見制度に関する基礎知識と具体的な活用方法についての啓発を行うためのセミナーを開催した。

今回は、甲賀・湖南地域に待望の成年後見センター「甲賀・湖南成年後見センターぱんじー」が設立されたことを記念して、ぱんじーと本会の主催事業として開催し、認知症高齢者や障がいのある人が、その人らしい生活を送れるよう、センターが関係機関や市民と協働し、発展していくには何が必要か、改めて成年後見制度を学び、考える機会とした。

日時 平成25年11月10日(日) 会場 サントピア水口

基調講演「権利擁護の理念と成年後見制度の可能性」

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 岩間伸之教授

シンポジウム「地域における権利擁護システムの展開をめざして」

イ ソーシャルワーカーデー2013『研修会』(実年部主催)

滋賀の先人である糸賀一雄氏の生誕100年を迎える節目の年度であることから、その実践と思想、対人援助専門職の魅力について、造詣の深い講師を招聘して共に学んだ。

日時 平成25年7月15日(月・海の日) 午後1時30分～3時30分

会場 滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが「研修室A」

内容 「糸賀一雄の『発達保障』思想と対人援助専門職の魅力」

滋賀県立近江学園 森本創氏

②社会福祉援助技術に関する研修会の開催

昨年度に引き続き「ソーシャルワーク実践とジレンマ」をテーマに、龍谷大学の山田容准教授を講師に迎え、3団体合同研修会(滋賀県社会福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会)を9月29日(日)に男女共同参画センターで開催した。3団体のソーシャルワーカーに共通するテーマについて、現場実践をふりかえりながら再度認識を深め、専門職としての資質の向上をめざし、また、研修を通して3団体に所属するソーシャルワーカー間の交流を深めた。

(2) 社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

制度政策研究委員会の設置

滋賀県社会福祉協議会の「地域福祉施策検討委員会」等を通じ必要な施策提言を滋賀県および滋賀県教育委員会へ行った。また、県議会各派への要請を行っている。

<本会要望事項>

1. 共生社会創造・ソーシャルワーク担い手応援センターの創設と地域実践の推奨

- ①生活者のニーズに対応している専門職のプラットフォームの整備・情報発信
- ②ソーシャルワーク関係団体連絡協議会の設置と啓発（人と人とのつながり・絆）
- ③地域実践活動の推奨と担い手の育成 など

2. 滋賀県内どこでも成年後見制度が活用できる仕組みづくりと市町に対する高齢者虐待対応支援のしくみの再構築

国の責任（国庫義務負担）で地域における権利擁護の体制整備を図ることができるよう国に働きかけるとともに、各地域で、成年後見制度が十分活用できるよう、成年後見制度利用支援事業の予算確保や成年後見制度が十分活用できる仕組みづくり（サポートセンターの整備など）の支援をお願いしたい。（本事業が、市町における体制整備にも活用できるよう国に要綱改正を働きかけてほしい。）

また、滋賀県社会福祉士会と滋賀弁護士会合同により設立された滋賀県高齢者虐待対応支援ネットの県内全域市町に周知を諮っていただくとともに支援ネット整備と利用支援のための予算を確保されたい。

3. 認知症初期集中支援チームの一員に社会福祉士の配置を要望

4. スクールソーシャルワーク等の学校における家庭支援機能の強化

「スクールソーシャルワーカー活用事業」が教育・福祉連携のもと、全県的な事業展開ができるよう要望する。

5. 報酬基準改定による福祉人材の確保

福祉に携わる人材の確保定着に繋がるように、国が設定する報酬基準の引き上げがなされるよう、国への働きかけを強めていただきたい。少なくとも、処遇改善交付金から期限付きでの報酬算入となっている勤務条件の改善が、恒久的に継続されるよう国へ働きかけて欲しい。あわせて、県においても、福祉人材確保対策の施策の継続的な取り組みをお願いしたい

6. 介護事業者自らが取り組む人材養成事業のしくみの構築と定住外国人向け介護人材養成事業の推進

深刻な人材不足から脱却し地域包括ケアの早期実現に向けて、介護事業者自らが取り組む人材養成事業のしくみの構築をお願いしたい。

また、製造業に特化した本県の産業特性から、製造業が活発な地域とその周辺に多くの定住外国人が生活の場を持ち地域に溶け込んでいるが、リーマンショック以降、製造業での就労は厳しい状況が続いている。文化共生社会づくりの観点からも、介護分野における外国人地域人材育成が必要と考える。（定住外国人約3万人のうち1／3はブラジル系）また、在住外国人の高齢化対策も今後必要になる。

（3）社会福祉士の養成支援

社会福祉士養成支援委員会

少子高齢社会の進展によりますます増加する福祉ニーズに対応するため、質の高い人材の育成を目指して、社会福祉士の養成支援を行っている。

①全国統一模擬試験の実施

10月5日（土） 長寿社会福祉センターで実施 受験者17名

②社会福祉士現場実習指導者養成研修の運営

実践力の高い社会福祉士を養成する観点から、相談援助実習の充実・強化の一環として、実習指導者の要件に、実習指導者を養成するための講習会の受講が定められ、2012年4月から実習生の受け入れには本講習会の修了が必須となっている。今年度は、本会が主催で開催した。

日程 9月14日（土）～9月15日（日）
 定員 31人 申込人数 31人
 申込期間 7月16日（火）～7月26日（金）
 会場 滋賀県立長寿社会福祉センター
 講師 実習指導概論 岡本芳也会員（本会）
 実習マネジメント論 直木慎吾様（大阪社会福祉士会）
 実習プログラミング論 原田徹様（大阪社会福祉士会）
 実習スーパービジョン論 前川敦様（大阪社会福祉士会）
 アシスタント2名、スタッフ数名

③社会福祉士国家試験対策講座の実施

7月20日～11月9日まで18科目31コマの講座を9日間開催する。
 18名が受講している。

日程	曜日	教室	I 10:00～ 11:00	II 11:10～ 12:10	III 13:10～ 14:10	IV 14:20～ 15:20	V 15:30～16: 30
7/20	土	長寿C	相談援助の理論と方法 安田誠人	相談援助の理論と方法 安田誠人	社会保障 市川忠稔	社会保障 市川忠稔	
8/3	土	長寿C			社会理論と社会システム 田中光一	低所得者に対する支援と生活保護制度 大岡紳浩	低所得者に対する支援と生活保護制度 大岡紳浩
8/17	土	長寿C	福祉行財政と福祉計画 澤和清	保健医療サービス 澤和清			
9/7	土	長寿C	就労支援サービス 城貴志	更生保護制度 森嶋友里子	権利擁護と成年後見制度 澤和清	権利擁護と成年後見制度 澤和清	
9/28	土	男女参画C	福祉サービスの組織と経営 澤和清	社会調査の基礎 澤和清	地域福祉の理論と方法 大谷喜久	地域福祉の理論と方法 大谷喜久	
10/5	土		全国統一模擬試験（長寿社会福祉センター）				

10/ 26	土	長 寿 C	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 岡本芳也	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 岡本芳也			
11/ 9	土	長 寿 C	高齢者に対する支援と介護保険制度 吉川鐘子	高齢者に対する支援と介護保険制度 吉川鐘子	相談援助の基盤と専門職 岡本芳也	相談援助の基盤と専門職 岡本芳也	
11/ 30	土	長 寿 C	現代社会と福祉 口村淳	現代社会と福祉 口村淳	心理学理論と心理的支援 佐藤順子	心理学理論と心理的支援 佐藤順子	
12/ 7	土	長 寿 C	障害者に対する支援と障害者自立支援制度 山田宗寛	障害者に対する支援と障害者自立支援制度 山田宗寛	人体の構造と機能および疾病 山田登喜子	人体の構造と機能および疾病 山田登喜子	

④実習指導者養成研修フォローアップ研修の開催

3月8日（土）平和堂守山店4階 楽修院 B教室

実習プログラミング論演習 講師 岡本芳也会員

⑤社会福祉士養成支援委員会の開催

4月25日（木） コミュニティセンターやす
5月29日（水） コミュニティセンターやす
8月30日（金） フェリエ南草津
2月 4日（火） フェリエ南草津

3. 介護従事者メンタルヘルス相談事業

高齢化の一層の進展に伴う介護サービスの利用増が進むなか、福祉介護職員の確保・定着が求められているが、他の業種に比べ離職率が高くなっており、その離職理由の上位を事業者や職場の人間関係に起因することから離職防止に向けた取り組みが急務になっている。

このようなことから、福祉介護従事者を対象とした「なんでも相談事業」を下記の通り実施した。

専用電話による相談→毎週木曜日に実施した。

メールによる相談→メール送信日から翌5日以内に回答した。

個別面談による相談→各圏域を下記のとおり巡回し相談を受けた。

東近江圏域	10月31日（木）	ショッピングプラザアピア（研修室）
東近江圏域	11月2日（土）	ショッピングプラザアピア（研修室）
湖東圏域	11月23日（土）	彦根勤労福祉会館（第3会議室）

湖東圏域	11月25日（月）	彦根勤労福祉会館（第2会議室）
甲賀圏域	11月24日（日）	サントピア水口（会議室）
甲賀圏域	11月26日（火）	サンヒルズ甲西（研修室）
高島圏域	12月15日（日）	安曇川公民館（団体活動室）
高島圏域	12月16日（月）	安曇川公民館（団体活動室）
湖北圏域	12月20日（金）	びわ公民館（2階和室）
湖北圏域	12月21日（土）	びわ公民館（2階和室）
高島圏域	1月17日（金）	安曇川公民館（福祉の職場説明会）
大津圏域	1月26日（日）	大津市ふれあいプラザ（和室）
大津圏域	1月29日（水）	コラボしが21（ミーティングルーム1）
湖南圏域	2月22日（土）	平和堂守山店楽修院（D教室）
湖南圏域	2月26日（水）	平和堂守山店楽修院（D教室）

出前講座の実施→メンタルヘルスに関連するテーマで出前講座を実施した。（10件）

①専門性の確保と多職種協働・連携（3件）

リハビリセンターあゆみ	9月6日（金）	松田前会長
東近江市社会福祉協議会	10月11日（金）	松田前会長
彦根市社会福祉協議会	1月16日（木）	澤会長

②クレーム対応（3件）

リハビリセンターあゆみ	11月6日（水）	桐高会員
ケアマネジメントセンターライフ長浜	12月3日（火）	桐高会員
老人ホームさつき荘	12月19日（木）	桐高会員

③やりがいを妨げる職場の課題（2件）

GHレイクヒル雄琴	11月5日（火）	小川理事
老健BOHケアサービスセンター	11月21日（木）	佐藤副会長

④接遇（1件）

ニチイケアセンター大藪	1月29日（水）	佐藤副会長
-------------	----------	-------

⑤人材の育て方（1件）

小規模多機能ホームあん	2月24日（月）	佐藤副会長
-------------	----------	-------

その他に2事業所から出前講座の依頼があったが、中止となった。

【収益事業】

1. 社会福祉事業のサービス評価

(1) 認知症高齢者グループホームならびに小規模多機能型居宅介護事業所の外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきた。

2007年度からは、2006年の介護保険法改正による「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動している。

2009年度からは、外部評価の実効性を高めるため、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行った。

直近では、2011年の介護保険法改正により地域密着型サービスに対象サービスが新たに2つ追加され2013年度から外部評価対象となること、2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、2012年度の年央ではあったが、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることにした。本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしている。

① 認知症高齢者グループホームならびに小規模多機能型居宅介護事業所の外部評価ならびに公表

- ☆ 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表 8ヶ所
- ☆ 小規模多機能居宅介護事業所の外部評価ならびに公表 3ヶ所

② 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み

- ☆ 委員会開催時に研修をかねた情報交換会の実施
- ☆ 第三者評価機関としての自己評価の実施
- ☆ 他機関との連携による広報活動

県が主催する調査員養成研修に本会から5名が受講し修了した。

○調査員の拡大・質の向上等に向けた取り組み

□調査員の拡大 22人→27人

□2013年度滋賀県地域密着型サービス外部評価調査員研修修了者の状況

・養成研修 17名

・フォローアップ研修 10名

③ 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

- ☆ 新規事業所に対する活動

県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにチラシを郵送した
現在、GHは6事業所、小規模多機能は3事業所。

- ☆ 既存事業所に対する活動

過去に評価した事業所、2年となった事業所、人脈のある事業所等を重点的に行う

○第三者評価委員会の開催と評価件数の推移

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
開催回数	9回	9回	4回	1回	4回	0回	6回	6回
件数	20件	9件	9件	4件	13件	7件	9件	11件

＜今後に向けて＞

本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり、利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしている。

また、超高齢社会という現実の中で、地域密着型サービスは、認知症になっても、住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けるために、また今後は、在宅生活への復帰を支援するといった様々な可能性があることから、その果たす役割は大きいと言える。

そのためには、地域密着型サービスの外部評価はますます重要となる。

本会としては、地域密着サービスが地域に開かれた、質の高いものとなることを願い、調査員の質の向上はもとより、外部評価機関としての質の向上を高めていくため、専門家や他機関とも連携して活動を行う。

【その他の事業】（相互扶助等事業）

1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

（1）日本社会福祉士会生涯研修制度への対応（滋賀県社会福祉士会生涯研修センターの運営）

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要がある。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することになった。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰと基礎研修Ⅱの研修を実施した。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行った。

○生涯研修センター運営委員会（集合研修講師・研修委員会・事務局会議）の開催

4月24日（水）コミュニティセンターやす

5月 8日（水）マイカル近江八幡マクドナルド

6月 8日（土）男女共同参画センター

9月18日（水）コミュニティセンターやす

2月19日（水）コミュニティセンターやす

（2）会員研修の実施

①新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施

集合研修①：日時 2013年10月5日（土）9：30～16：50

場所 草津市立まちづくりセンター

内容 講義『社会福祉士会のあゆみ』

講師：松田正義会長
 講義『日本社会福祉士会・滋賀県社会福祉士会の組織』
 講師：市川忠稔事務局長
 講義『生涯研修制度』
 講師：磯崎圭一郎会員
 演習『社会福祉士の専門性について考える』
 講師：井上良信会員
 ファシリテーター：小寺信子会員・村松明会員・大岡賢至会員（湖北ブロック）

集合研修②：日時 2014年3月1日（土）9：30～16：50

場所 滋賀県立男女共同参画センター

内容 講義『社会福祉士に共通する専門性の理解』

講師：村松明会員

講義『倫理綱領・行動規範の理解』

講師：井上良信会員

演習『社会福祉士の倫理綱領の現場適用』

講師：小寺信子会員

ファシリテーター：藤野敦士会員（湖東ブロック）・磯崎圭一郎会員

修了者数：15名

②基礎研修Ⅱの実施

開催日	時間	科目
2013年7月20日（土）	9:30～13:00	・相談援助の視座と展開過程（オリエンテーションを含む）
2013年8月24日（土）	9:30～16:50	・実践のためのアプローチ ・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク
2013年9月21日（土）	9:30～16:50	集合研修1「実践事例演習」（事前課題あり）
2013年10月5日（土）	9:30～16:50	・社会資源の理解と社会資源開発（事前課題あり） ・連携システムのあり方とネットワークの構築
2013年10月26日（土）	9:30～16:50	・地域における福祉政策と福祉計画（事前課題あり） ・社会福祉調査の方法と実際（事前課題あり）
2013年11月16日（土）	9:30～16:50	集合研修2 ・スーパービジョンとは ・スーパービジョンのモデルセッションを見る ・スーパーバイジー体験
2013年11月30日（土）	9:30～16:50	・社会福祉における法
2013年12月21日（土）	9:30～16:50	・ソーシャルワークと権利擁護の視点
2014年1月18日（土）	9:30～16:50	・実践研究の意義と方法 ・実践研究のための記録
2014年2月15日（土）	9:30～12:30	・実践評価の方法
2014年3月1日（土）	9:30～16:50	集合研修3「実践研究発表の方法」

修了者数 8名

講師：澤和清理事・松田正義理事・高田佐介理事・乾昌典理事・小川学理事・海部久美会員・加藤芳子会員・口村淳会員・柴田有加里会員・小寺信子会員・磯崎圭一郎

会員（のべ22名）

ファシリテーター：生涯研修センター運営委員と各回ごとに順番に各ブロックから1名以上の会員の協力を依頼して行った。（のべ45名）

（３）ブロック活動における研修実施の推進・支援

各地域ブロックにおける研修活動を支援し、経費の助成や企画運営に関する助言等を行った。

（４）会員によるグループ研修実施の推進・支援

入会年数別や職種別などあらゆるカテゴリーによる本会会員によるグループ研修活動の可能性を検討し、経費の助成や企画運営に関する助言などの開催支援を行った。

青年部会

実年部

実年部は、年齢的な縛りはなく、自らが実年だと思われれば会員になれる緩やかな勉強会グループです。実年ですので、各方面で豊富な社会経験を有しておられることは不動ですが、志は更に実践力を高めたい、この一点です。グループを牽引している世話人の殆どは50～60歳代ですが、知識・価値・技術の磨き上げに一生懸命で、青年部をはじめ会員各層への呼びかけも盛んで、参加された方々との交流も楽しみに活動しています。勉強会は原則奇数月で、良質な勉強を行うためワンコイン型で6回実施しました。

実施月日	テーマ
6月 1日	「生活保護の現状と課題について」
7月15日	「糸賀一雄の『発達保障』思想と対人援助専門職の魅力」
9月21日	「不動産登記事項証明書と戸籍に関する証明書の読み方」
11月30日	「障害者総合支援法を理解する」
1月25日	「精神障害者の生活課題と支援」 「精神疾患について理解を深める」
3月15日	「地域からみた知的障害者の就労の現状と課題」

（５）近畿ブロック研修会の推進

①近畿ブロック研究・研修大会への参加

近畿ブロック研究・研修京都大会の運営に参画する。また、分科会では、大会2日目に分科会を主催する。

日時：2014年2月1日（土）、2日（日）

②近畿ブロック関連

近畿ブロック代表者会議

4月 6日(土) 欠席(JR不通のため)
 8月17日(土) 松田正義会長
 11月30日(土) 市川忠稔事務局長
 2月 2日(日) 澤和清会長 市川忠稔事務局長
 近畿ブロック代表者・研修担当者合同会議
 9月21日(土) 高田佐介理事、堤洋三理事
 近畿ブロック研修担当者会議
 4月14日(日) 磯崎圭一郎理事
 6月22日(土) 高田佐介理事 磯崎圭一郎会員
 10月12日(土) 高田佐介理事 磯崎圭一郎会員
 2月 2日(日) 高田佐介副会長 堤洋三理事 磯崎圭一郎会員
 近畿ブロック実習担当者会議
 4月27日(土) 川島洋会員
 7月 6日(土) 川島洋会員
 10月12日(土) 欠席
 2月 2日(日) 川島洋会員
 近畿ブロック事務局会議
 8月30日(金) 木下事務局次長

2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

(1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

①滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会との3団体合同研修会の実施

社会福祉専門職としてのソーシャルワーク実践に関する研修会を滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会との共催で実施した。

日時 2013年9月29日(日)

場所 男女共同参画センター

内容 ソーシャルワーク実践とジレンマ

講師 山田 容 龍谷大学社会学部臨床福祉学科准教授

講演、グループワーク

参加者 31名(本会会員15名)

②3団体代表者会議の開催

5月28日(火) 3団体代表者会議

1月15日(水) 3団体代表者会議

③3団体研修担当者会議の開催

7月 5日(金) 出会いの家 乾昌典理事

7月19日(金) 出会いの家 乾昌典理事

8月 7日(水) 龍谷大学(講師打合せ) 乾昌典理事

9月18日(水) 出会いの家 乾昌典理事

(2) ソーシャルワーカーデイの取り組み

ソーシャルワーカー全体への呼びかけが不十分で、社会福祉士会以外の団体との共催とらなかった。少なくとも医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士会、社会福祉士

養成校協議会には声掛けし、共催の事業としたい。内容に応じて県民や行政等関係者への参加呼びかけを行っていききたい。そのために、早期に開催の準備を始めたい。

(3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

(本会へ推薦依頼があり、理事会、理事・監事連絡会議で承認等を行ったもの)

- ①滋賀県介護保険審査会委員（長谷川美智子会員）
- ②滋賀県社会福祉協議会評議員（松田正義会長）
- ③滋賀県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会委員（松田正義会長）
- ④滋賀県福祉人材・研修センター運営委員会委員（佐藤順子副会長）
- ⑤滋賀県権利擁護センター権利擁護委員会委員（竹村直人会員）
- ⑥滋賀県運営適正化委員会委員（松田正義会長 岡村明子会員）
- ⑦滋賀県地域福祉施策検討委員会委員（澤和清副会長）
- ⑧滋賀県権利擁護センター契約締結審査会委員（加藤芳子会員）
- ⑨滋賀県社会福祉学会実行委員（安田誠人会員）
- ⑩滋賀県連携リハビリテーション学会委員会委員（澤和清副会長）
- ⑪滋賀県健康福祉サービス評価システム推進委員会委員（澤和清副会長）
- ⑫滋賀県健康福祉サービス評価システム推進委員会高齢・介護分野サービス評価推進部会委員（澤和清副会長）
- ⑬成年後見制度の利用促進に関する行政職員研修会実行委員会委員（澤和清副会長）
- ⑭湖北地域介護認定審査会委員（松田正義会長）
- ⑮栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会（高田佐介理事）
- ⑯長浜市地域包括支援センター運営協議会委員（澤和清副会長）
- ⑰高島市地域包括支援センター運営協議会委員（谷本修一会員）
- ⑱長浜市ケアプラン指導研修チーム（宮川和彦会員）
- ⑲長浜市高齢者虐待防止ネットワーク協議会委員（澤和清副会長）
- ⑳彦根市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会委員（松田正義会長）
- ㉑高島市障害程度区分認定審査会委員（仁賀俊二会員）
- ㉒長浜市高齢者保健福祉審議会委員（澤和清副会長）
- ㉓あさがお市民の参画による成年後見活動のあり方検討委員（平野千代子会員・町野ひろ子会員）
- ㉔成年後見センターもだま運営適正化委員会委員（竹村直人会員）

3. 広報委員会の運営

①広報紙（はーと・めーる）の発行

会員への当会の活動報告と、幅広く県民に対する当会の活動の普及・啓発を行なうため、最新の福祉に関する情報も含めた広報紙を年2回発行した。掲載する情報量に応じてページ数（基本的に4ページ）を決定し、記事の内容は活動報告や会員の顔の見える紙面づくりを心がけ、会内外の方に本会に親しみを持ってもらえるような広報活動を展開した。主催事業を始め、各委員会の活動やブロック活動など会員の活躍の様子が垣間見えるようなものとし、会の活動や事業に親しみを持ってもらえるような広報活動を展開した。発行計画は年度当初は3回としていたが、年度途中に見直しを行い、2回に修正した。紙面のレイアウトやカラー刷りにするなど手に取りやすくするなどイメージアップに心掛けた。

②ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、会員をはじめ県民向けの当会からの情報提供や情報公開という視点で県民にとって関心の高い福祉情報を提供できるよう検討を重ねながら管理運営を行った。サイトマップの大々的な再構築は行わず、既存のフォーマットを利用しながらコンテンツ充実を図った。事務局及び各委員会と連携し、情報（掲載内容）の収集・更新に努めた。研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができた。

ブログ「滋賀県社会福祉士会のひろば」を活用して、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営の充実を図った。

③広報委員会の体制強化

はと・めーるの発行やホームページ及びブログ運営管理をより強化して行うために、広報委員どうし及び各関係者との連携をメールを活用しての情報交換や会議の開催等により、より強固な体制作りを図った。今年度は広報委員会として7月16日、9月18日、3月10日に行った。委員会の招集が無いときも主にメールなどの通信媒体を利用し、担当者相互の連絡・協議を行うよう工夫を行った。委員会の構成は並河孝理事・市川忠稔理事・城貴志会員・松井邦夫理事が担当し、会員の皆様と協力・連携して情報収集・記事作成にあたることができた。

4. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行った。

湖南ブロック（7回開催） 代表：城貴志

2013年度は「ゆりかごから墓場まで～ライフステージに寄り添う社会福祉の役割～」をブロックの年間テーマとし、人が生まれてから死ぬまでの一生涯のそれぞれの課題を掘り下げ、学び議論する研修を実施しました。

また、顔の見える関係から地域を創る、耕す社会福祉士を増やそうと、会員間のネットワークの拡大も目的に交流も図りました。

5月 7日（火） 世話人会

会場：滋賀県社会就労事業振興センター会議室

内容：2013年度活動方針と計画の確認

6月20日（木） テーマ：出生前診断について

会場：草津市立サンサンホール

参加者：5名

内容：DVDを鑑賞後、グループ討論を実施しました。

8月29日（木） テーマ：児童家庭福祉と子どもの現状について

ゲストスピーカー：上村文子会員

（県教委スクールソーシャルワーカー）

会場：草津市立サンサンホール

参加者：8名

10月17日（木） テーマ：障害のある人の地域で暮らすことの現状

ゲストスピーカー：柳川環実会員（高島市障がい福祉課）

参加者：8名

12月16日（月）会員相互の交流会

会 場：FUNEYA草津店

参加者：8名

1月30日（木）テーマ：生活困窮者自立支援法について

ゲストスピーカー：宇都宮 誠実会員

（野洲市市民生活相談課）

会 場：草津市立サンサンホール

参加者：13名

3月13日（木）テーマ：どこで死にますか？

ゲストスピーカー：北川 喜博 氏

（老人福祉施設 赤煉瓦の郷 介護福祉士）

会 場：草津市立サンサンホール

参加者：14名

甲賀ブロック（7回開催） 代表：桐高とよみ

5月16日（木）テーマ：25年度の研修計画と意見交換

会 場：水口社会福祉センター

参加者：9名

7月16日（火）テーマ：介護支援専門員の現状と課題

ソーシャルワーカーから見たケアマネジメント

会 場：水口社会福祉センター

参加者：13名

9月17日（火）テーマ：障害者総合支援法で何が変わったか？

ゲストスピーカー：安田誠人会員（大谷大学短期大学部教授）

会 場：水口社会福祉センター

参加者：12名

11月21日（木）テーマ：成年後見センターばんじーの活動と今後の方向性

会場：水口社会福祉センター

参加者：7名

1月23日（木）テーマ：生涯研修制度と認定社会福祉士制度の関係

ゲストスピーカー：磯崎圭一郎会員

会 場：Gen 喜

参加者：13名

2月27日（木）東近江ブロックとの合同研修会

テーマ：精神障害者の在宅サービス利用と支援について

ゲストスピーカー：ふらっと 勝見尚子さん

会 場：水口社会福祉センター

参加者：25名

3月20日（木）テーマ：事例検討会

会 場：水口社会福祉センター

参加者：7名

東近江ブロック（５回開催） 代表：嶋田和孝

６月１９日（水）研修会

ブロック研修会に期待すること・認定社会福祉士について等

８月２０日（火）研修会

福祉職の心の健康を考える

１０月１８日（金）研修会

薬剤師が薬の疑問にこっそりお答えします

講師：ファースト薬局 西井伸善氏

１２月１８日（水）研修会・交流会

２月２７日（木）甲賀ブロックとの合同研修会

精神障害者の在宅サービス利用と支援について

講師：ふらっと 勝見尚子氏

湖東ブロック（１０回開催・原則第２金曜日）代表：村元稔

４月１９日（金）ブロック世話人会

５月１０日（金）ブロック世話人会

６月１４日（金）ブロック世話人会

７月１１日（木）研修会（視覚障害者養護老人ホーム見学）

ブロック世話人会

８月２３日（金）ブロック世話人会

９月２０日（金）ブロック世話人会

１０月１１日（金）ブロック世話人会

１２月１２日（木）研修会（触法者自立支援事業）

ブロック世話人会

１月１７日（金）ブロック世話人会

２月１４日（金）ブロック世話人会（降雪のため中止）

３月１４日（金）ブロック世話人会

湖北ブロック（２回開催） 代表：中村真理

８月 ２日（金） 相談職のストレスマネジメント

いとうゆうじ（ライフワークサロン代表）

１２月１７日（火） 傾聴力を高める

いとうゆうじ（ライフワークサロン代表）

湖西ブロック（１回開催） 代表：井上良信

６月２９日（土）福祉職における法律知識「更生保護を中心に」

講師：高島法律事務所 野田隼人弁護士

交流会

５．会員の拡大

本会活動活性化のため、新しい会員を増やす取り組みとして、本会の活動を紹介し、入会の呼びかけのメッセージの入ったパンフレットを活用するなど、会員を通じて、あらゆる機会をとらまえて、本会活動の周知を図っている。その結果、２０１３年度は２７人の

入会があった。一方で17人の退会があり、3月末会員数は、428人となった。組織率は、20.28%と全国平均の21.69%を下回る状況にある。

6. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組んだ。

①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所移転・整備に取り組むため、資金準備の寄付金の募金活動を、目標額は400万円を設定し2012年度から開始している。2013年2月に20周年という大きな節目を迎えたことから、20周年記念事業の一環として取り組んでいる。

基金残高 1,355,461円（2014年3月31日現在）

②成年後見体制整備基金

ばあとなあ活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ばあとなあ活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立てた。

基金残高 2,433,780円（2014年3月31日現在）

7. 事務所移転・整備の検討

事務所整備には資金を必要とすることから理事会において慎重に協議をすすめ、生涯研修センター設立等にあわせて2回の会員あて寄付のお願いを行ったが、具体的な実施内容について委員会で議論を深める。

8. 事務局の充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めていく。

①事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行うことができた。

4月（166号）、4月臨時号（167号）、5月（168号）、6月（169号）、
7月（170号）、8月（171号）、9月（172号）、10月（173号）、
11月（174号）、12月（175号）、1月（176号）2月（177号）
3月（178号）

②公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

③諸規定の改正と規程集の発行

9. 社団法人日本社会福祉士会との連携事項

①代議員への参画

通常総会

第25回 6月15日(土) 東京・鉄鋼会館(松田正義会長)

第26回 3月15日(土) 東京・鉄鋼会館

②各種委員会活動への参画

ア都道府県会長会議 9月7日(土)、8日(日)

アットビジネスセンター(松田正義会長)

イ全国生涯研修委員研修会議(磯崎圭一郎^{会員})9月28日(土)・29日(日) 東京

ウ都道府県ばあとなあ担当者会議

③中央研修等への会員派遣

ア2013年度新基礎研修リーダー養成研修(大阪)

10月13日(日)～10月14日(月・祝)(高田佐介理事・松井邦夫理事・磯崎圭一郎^{会員})

イ 養介護施設従事者等による高齢者虐待対応に関する専門職チーム研修

4月13日 澤会長

ウ 養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修のための講師予定者研修会

9月28～29日 足立理事

10. 総会・理事会・理事連絡会議の開催

(1) 総会の開催

①6月8日(土)

報告事項 2012年度社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について

第1号議案 2012年度社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について

第2号議案 役員の選任について

連絡事項 各委員会・事業部会の年間事業計画について

②3月23日(日)

報告事項 2014年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画および
予算について

研修会 社会福祉士の災害支援活動

助言者 谷口郁美氏(滋賀県社会福祉協議会地域福祉担当部長)

(2) 理事会の開催

①4月10日(水)

第1号議案 副会長の選任について

第2号議案 会長代理の順位について

第3号議案 公益目的事業変更認定申請について

第4号議案 役員選出規則の制定について

第5号議案 選挙管理委員会委員の選任について

第6号議案 事務局の組織及び運営に関する規則の制定について

第7号議案 事務局長の任命について

第8号議案 入会者の承認について

- 協議事項 (1) 年間行事予定について
(2) 生涯研修センターの運営方法について
(3) ブロック代表者会議について
(4) 事務所整備検討委員会について

② 5月17日 (金)

- 第1号議案 社団法人滋賀県社会福祉士会第2次補正予算について
第2号議案 社団法人滋賀県社会福祉士会2012年度事業報告について
第3号議案 社団法人滋賀県社会福祉士会2012年度決算報告について
監事監査報告
第4号議案 役員の選出について
第5号議案 総会の開催について
第6号議案 入会者の承認について
第7号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

- 協議事項 (1) 年間行事予定について
(2) 基礎研修Ⅰ、Ⅱ開催要項について
(3) 社会福祉士会基礎研修における第三者機関認証届出について
(4) 謝金細則の改正について
(5) ブロック代表者会議について
(6) 高齢者虐待対応現任者標準研修実施計画について
(7) ウェルカムパーティについて
(8) 会員拡大について
(9) 社会福祉士養成支援委員会担当行事について
(10) 生涯研修センター委員について
(11) 連携リハビリテーション学会について
(12) 全国評価機関ネットワークの参加について
(13) 委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則について
(14) 事務処理規定について
(15) 3団体代表者会議について
(16) ソーシャルワーカーデイについて
(17) 生活困窮者自立促進支援モデル事業についてのアンケート

③ 7月24日 (水)

- 第1号議案 2013年度補正予算案の承認について
第2号議案 会計規程の制定について
第3号議案 謝金支払細則に制定について
第4号議案 入会者の承認について
協議事項 (1) 高齢者虐待対応現任者研修について
(2) ホームページコンテンツの充実について
(3) 糸賀一雄生誕100年記念事業協賛金について
(4) 高齢者障害者虐待支援ネット研修会について
(5) 日本社会福祉士会アンケートへの回答について
(6) ぱあとなあ諸規定について

④ 8月21日 (水)

- 第1号議案 入会者の承認について
協議事項 (1) ホームページコンテンツの充実について
(2) ぱあとなあ諸規定について
(3) 各全国会議・研修会への派遣者について

- (4) ぱあとなあ県民向けセミナーについて
- (5) コピー機の更新について
- (6) 日本社会福祉士会代表者MLについて
- (7) 3団体（滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県社会福祉士会）合同研修会の挨拶について

⑤ 9月25日（水）

- 第1号議案 2013年度第1回業務報告
- 第2号議案 入会者の承認について
- 協議事項 (1) はあとめーるについて
- (2) 苦情対応について
- (3) 寄付金の取り扱いについて
- (4) ぱあとなあ諸規定について

⑥ 10月30日（水）

- 第1号議案 入会者の承認について
- 協議事項 (1) 基礎研修について
- (2) 苦情対応について
- (3) 寄付金の取り扱いについて
- (4) ぱあとなあ諸規定について

⑦ 11月27日（水）

- 第1号議案 基礎研修相互協力に関する申し合わせ事項について
- 第2号議案 入会者の承認について
- 協議事項 (1) 日本社会福祉士会予算・事業計画について
- (2) 次年度基礎研修日程について
- (3) 次年度の会費の取り扱いについて
- (4) 行事の代理出席について

⑧ 12月26日（木）

- 第1号議案 基礎研修相互協力に関する申し合わせ事項について（再議決）
- 第2号議案 入会者の承認について
- 協議事項 (1) 2014年度の行事予定調整
- (2) 会費徴収の本会での独自実施について
- (3) 会費未納者へ対応について
- (4) 3月総会について
- (5) 災害支援コーディネーター養成研修について
- (6) 一般社団法人日本社会福祉士会会長あて財政調整基金の取り扱い、企画室の設置等についての質問状の提出について
- (7) 社団法人日本社会福祉士会生涯研修制度基礎課程 滋賀県、福井県会員相互参加協定書の締結について
- (8) 近畿ブロック滋賀大会の日程及び会場について

⑨ 1月19日（日）

- 第1号議案 会長の選定について
- 第2号議案 基礎研修相互協力に関する申し合わせ事項について（再議決）
- 第3号議案 入会者の承認について
- 協議事項 (1) 2014年度の行事予定調整
- (2) 2014年度事業計画について
- (3) 3月総会について
- (4) 近畿ブロック滋賀大会実行委員会について
- (5) ぱあとなあ滋賀 ぱあとなあ基金に関する規程について
- (6) 地域包括支援センターへの会員拡大について

⑩ 2月26日（水）

- 第1号議案 副会長の選定について
- 第2号議案 会長の代理順位について
- 第3号議案 ぱあとなあ基金に関する規程について
- 第4号議案 2013年度第2回業務報告について
- 第5号議案 2014年度事業計画について
- 第6号議案 2014年度予算について
- 第7号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第8号議案 トータルサポート縁センター事業への出資について
- 第9号議案 総会の開催について
- 第10号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 2013年度補正予算について
- (2) 地域包括支援センターへの会員拡大について
- (3) は一とめーる2号について
- (4) ブロック代表者会議について
- (5) HPへの求人情報の提供について
- (6) 糸賀一雄生誕100年記念式典への協力について
- (7) 滋賀県いじめ問題対策連絡協議会について
- (8) 介護の職場合同入職式について
- (9) 基礎研修Ⅲについて

⑪ 3月23日（日）

- 第1号議案 ぱあとなあ基金に関する規程について
- 第2号議案 2013年度補正予算案について
- 第3号議案 大規模災害時の福祉避難所における人的支援に関する協定書締結について
- 第4号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 地域包括支援センターへの会員拡大について
- (2) 滋賀県いじめ問題対策連絡協議会について
- (3) 介護の職場合同入職式について
- (4) 基礎研修の申込について
- (5) 草津市からの受託事業について
- (6) 県からの受託事業について
- (7) 滋賀県災害時要援護者支援ネットワーク会議への参加について

(3) 理事監事連絡会議の開催

本会の運営に関する諸課題を協議し、各委員会・事業部会の活動状況を報告する場として、理事連絡会議を定期的に開催した。

7月2日（火）